

史料保存技術室報告

「長篠合戦図屏風」 武将の対比画像

村岡 ゆかり

はじめに

織田・徳川軍と武田軍との戦いを描いた「長篠合戦図屏風」は、代表的なもので一二点が確認されている。^① その一つ東京国立博物館所蔵「長篠合戦図屏風」(以下「屏風下絵」)は、一九世紀に制作された狩野晴川院養信の手になる下絵と推定される。^② この屏風下絵は、紙本墨画(一部彩色)の八幅掛幅装となっているが、現在のところ完成したものは発見されていない。また絵画としては明らかに未完成の部分が多く、模写作品でもないかと推測される。

この下絵を完成させる作業を二〇一七年より進めているが、^③ その工程は以下の通りである。① 他の長篠合戦図の調査。② 狩野晴川院養信作品の調査。③ 本下絵の制作(ラフな表現である線描の描き起こし)。④ 大山城白帝文庫所蔵長篠合戦図屏風(以下「成瀬本」)など数点の屏風の色分類および色表作成。⑤ ④の色情報の統計を取り屏風下絵の色を考察。⑥ ④・⑤を基に人物・馬などの描画に細かい色指定を行う。

武将の対比について

屏風下絵には、貼札付き武将に淡彩が施されているほかは墨による線描が主であり、色指定の注記も存在しない。そこで彩色にあたり特に参考としたのが成瀬本である。一七世紀末頃に描かれた成瀬本と屏風下絵の貼札付き武将を比較すると、甲冑や馬の様式に違いはあるものの、共通する表現が多く見受けられる。そこで成瀬本の情報を屏風下絵の制作に援用するため、先の工程④の段階で、屏風下絵の武将名が記された貼札に基づき、それと対応する成瀬本の情報を資料として整理した(画像1)。これら武将のみの画像を

徳川家康		東将七幅、成瀬三幅	
			
成瀬本		成瀬本	
			
成瀬本足軽など		成瀬本足軽など	
			
兜	黒(金天冠)	兜	黒
胴	—	胴	—
足	白縁地に緑青・赤札、金線	足	白縁地に緑青・赤札、金線
(袖・襟)・袖	(一)・赤に丹紋・一	(袖・襟)・袖	(一)・赤に丹紋・一
小手	紺?、金、白	小手	紺?、金、白
袴	赤地に紋	袴	赤地に紋
腰巾・腰当	白・紺?、金、白	腰巾・腰当	白・紺?、金、白
毛色	青毛	毛色	青毛
毛色(色料)	油煙? ねずみ地に黒炭	毛色(色料)	油煙? ねずみ地に黒炭
模様	なし	模様	なし
たてがみ	黒線	たてがみ	黒線
総(房)	赤、金線	総(房)	赤、金線
手綱	白、花色、金	手綱	白、花色、金
写せん・切附	紺・花色	写せん・切附	紺・花色
蹄記	白縁茶?	蹄記	白縁茶?
兜	—	兜	—
足	—	足	—
胴	—	胴	—
(袖・襟)・袖	(一)・一、一	(袖・襟)・袖	(一)・一、一
肩衣・肩服	花色、白紋	肩衣・肩服	花色、白紋
小手	—	小手	—
袴	花色	袴	花色
腰巾・腰当	紺・一	腰巾・腰当	紺・一

画像1

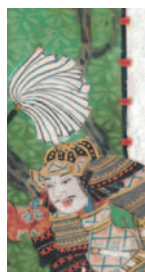
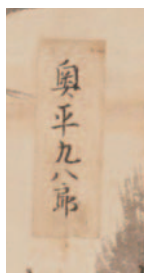
一覧にして、右側に屏風下絵、左側に成瀬本を配した別表を作成した。なお、成瀬本四幅下方の騎乗の武将「三科伝右衛門」「広瀬郷左衛門」(画像2)は、屏風下絵に存在しないため、対比表には載せていない。

貼札の比較

武将の対比を行う作業において根拠としたのが貼札である。成瀬本と屏風下絵それぞれに武将のそばに名前が記された短冊形の札が貼られている。成



画像2



画像5



画像3



画像4

(1) 同じ貼札がある場合

奥平久八郎は、成瀬本では「奥平九八郎貞昌」、屏風下絵では「奥平九八郎」の表記となっているが、幟旗の文様や流れ旗の赤色、采配を持つ様子、人物の角度などから、同一人物と推測できる(画像5・対比表1)。また、

瀬本では、織田・徳川方が金地の短冊、武田方の短冊は変色しているものの、おそらく銀地と思われる(画像3)。屏風下絵は、全て白紙の短冊形であった(画像4)。まず二つの屏風の貼札の有無、人物の位置関係、甲冑の色・デザインなどの描き方を比較し、符合する人物を割り出していった。

(2) 貼札が移動したもの

屏風下絵には、貼札が本来の位置から移動しているケースが見受けられる。たとえば、三幅下方「青山新七」の貼札の人物は(画像6)成瀬本の同名人物と合致しない(画像7)。画像7の人物は、左方の山道を歩く武将(画像9)と符合するため(対比表58)、下絵の貼札が移動したものと考えられる。一方、画像6の武将は、成瀬本における、山道行進と白い甲冑の共通点

和田兵部は、屏風下絵では貼札が破損し「部」一字しか確認できないが、位置情報と状況の描写、旗印・鎧の色などの共通性から、成瀬本の同人が特定できる(対比表7)。

同様に、同一の貼札に基づき比定したものは、対比表の1から57である。



画像7



画像6



画像9



画像8



画像15



画像16



画像13



画像14



画像11



画像10



画像12

から(画像8)、松平主殿伊忠と判断した(対比表59)。また、四幅に「逍遙軒」の貼札がある武将(画像10)は、位置や幟旗・馬印・甲冑の色などから成瀬本の「安中左近」と推測され(画像11・対比表60)、四幅下方の武将が成瀬本の「逍遙軒」に相当すると判断した(対比表61)。五幅にある「鳥居右衛門」の貼札は、本来徳川方であるはずが武田方に位置しているうえ、該当する彩色の武将が見当たらない(画像12)。成瀬本の「鳥居彦右衛門」を確認すると、馬印が3つの葉のような形、鎧の威毛が緑と白に描かれている(画像13)。これと同様の武将は、八幅の「成瀬小吉正成」貼札の人物である(画像14)。この貼札は他とは筆跡が異なり(画像15)、後補の可能性が高い。よって「成瀬小吉正成」は「鳥居彦右衛門」と差し替えた(対比表62)。さらに八幅左上方に「水野惣兵衛」の貼札があるが(画像16)、周囲に人物が存在せず、貼札の移動は明らかである。「水野」の名は成瀬本にはないが、同じ犬山城白帝文庫所蔵の長篠合戦図屏風副本(以下「副本」)には存在する。この副本を参考に同様の人物を探したところ、八幅左下方の武将が符合した(対比表63)。

(3) 成瀬本にあるが屏風下絵にはない貼札

「穴山梅雪信君」は屏風下絵に貼札がないものの、両屏風共に一幅右上方に位置し、黒馬騎乗の赤鎧・幟旗・馬印などが一致するため、成瀬本の当該人物に相当すると考えた(対比表64)。成瀬本「蜂須賀小六正勝」は、連銭草毛に騎乗の武将で、卅印の幟旗を従えている。同様の人物が屏風下絵六幅上方にあり、馬印の形も一致することから、この人物を蜂須賀正勝とした(対比表65)。成瀬本五幅の数人の武将集団は、貼札の付け替えが多く、判断が難しい。「榊原小平太康政」は、同様の人物が成瀬本に存在し、かつ副本には記名があることから、同人と比定した(対比表66)。

(4) 屏風下絵にあるが成瀬本にはない貼札

成瀬本にはない「松井シウシ 尾崎半兵衛」の貼札が屏風下絵にはあるが(画像17)、その貼札は異筆の可能性もある。また、屏風下絵には別に両武将



画像17



画像18

の戦闘場面の描写が貼られている（画像18）。川での戦闘、旗印などの共通点から、人物を比定した（対比表67・68）。

（5）両屏風に貼札が存在しないもの

成瀬本と屏風下絵の双方に貼札のない人物がいる。これらの特定は、副本や豊田市郷土資料館所蔵本（以下「豊田本」）の貼札を参考としながら、比定を行った。屏風下絵二幅の旗印が三連の人物は特に記名の必要がないと思われるが、同様に描写された人物が成瀬本に描かれているため、対比表に載せた（対比表69）。

成瀬本四幅下方の馬防柵の前に立つ人物は、貼札はないが、「成瀬正二」だとされている。屏風下絵では、七幅下方に馬防柵の間に立つ人物が、周囲の鉄砲隊とは表現が異なる武将の姿であること、成瀬家に伝わる、最前線で武田勢の武将を見分けたという逸話を表現していることから、この人物を成瀬正一とした（対比表70）。

長篠合戦の大将である織田信長が「信長公」の貼札で両屏風にあるのとは対照的に、「徳川家康」の貼札はない。家康については、周辺の幟旗・馬印などから判断した（対比表71）。また、（3）で述べた成瀬本五幅下方の武将集団の中心にいる人物も、どちらの屏風にも貼札は存在しない。しかし豊

田本には、その中心人物が「松平信康」と記されている。連銭葦毛に騎乗し、鎧が桃色系の彩色、葵紋の幟旗などの共通性から、松平信康と比定した（対比表73）。またその後ろに控えている二名のうち「榊原小平太康政」は（3）で述べたが、他方は「内藤四郎左衛門正成」であると副本から確認できる。成瀬本と同様に榊原康政の近くにおり、陣羽織の模様が同じであることから、内藤正成と比定した（対比表72）。どの屏風にも記名がないが、描写が同じと判断した人物については、「不明」として対比表に掲載した（対比表74・75）

以上、二つの屏風に描かれた情報を整理し検証した結果、より正確な照合が可能となった。また、彩色情報が得られただけでなく、屏風下絵の絵師たちが成瀬本の様式を強く意識した表現を試みていたことも明らかになった。

註

- （1）金子拓「東京国立博物館所蔵長篠合戦図屏風について」（『東京大学史料編纂所 附属 画像史料解析センター通信第七一号』二〇一五）
- （2）金子拓「東京国立博物館所蔵「長篠合戦図屏風」」（『長篠合戦の史料学 いくさの記憶』金子拓編 勉誠出版 二〇一八）
- （3）東京大学史料編纂所画像解析センター「長篠合戦図屏風プロジェクト」（代表金子拓）
- （4）白水正「犬山城白帝文庫所蔵「長篠合戦図屏風」」（『長篠合戦の史料学 いくさの記憶』金子拓編 勉誠出版 二〇一八）

14 金森五郎八 (下絵二幅、成瀬一幅)



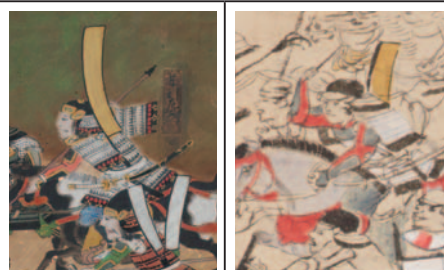
15 太田甚九郎正近 (下絵二幅、成瀬一幅)



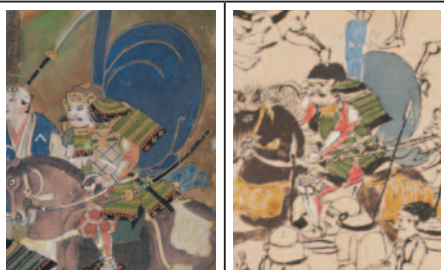
16 酒井左右衛門尉忠次 (下絵二幅、成瀬二幅)



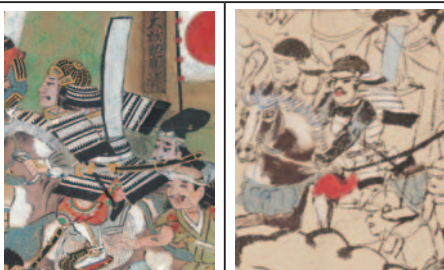
17 甘利左衛門信康 (下絵三幅、成瀬三幅)



18 武田左馬頭信豊 (下絵三幅、成瀬三幅)



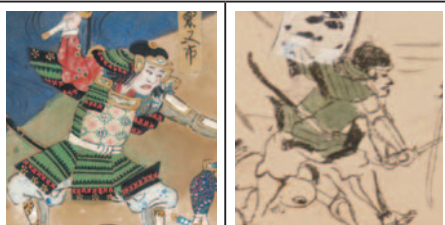
19 跡部大炊助勝資 (下絵三幅、成瀬二幅)



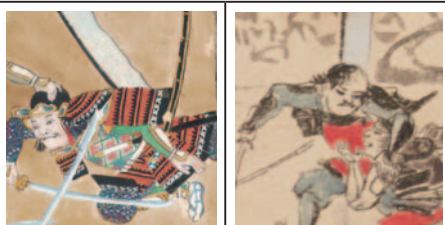
7 和田兵部 (下絵一幅、成瀬一幅)



8 小栗又市吉忠 (下絵一幅、成瀬二幅)



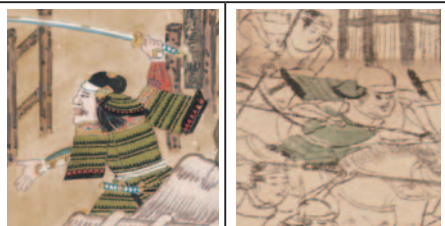
9 名和無理助 (下絵一幅、成瀬二幅)



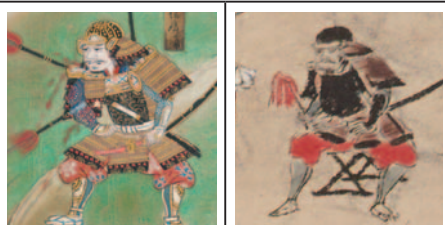
10 渡辺忠右衛門 (下絵一幅、成瀬二幅)



11 飯尾弥四右衛門 (下絵一幅、成瀬一幅)



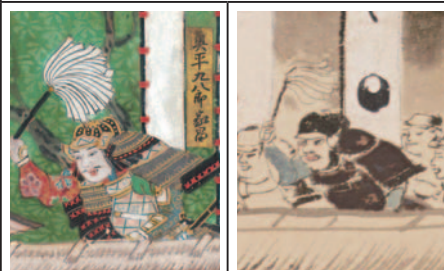
12 馬場美濃守信春 (下絵二幅、成瀬一、二幅)



13 武田四郎勝頼 (下絵二幅、成瀬二幅)



1 奥平九八郎貞昌 (下絵一幅、成瀬一幅)



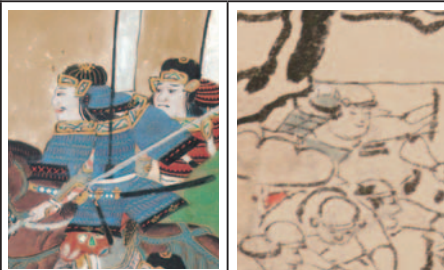
2 本多豊後守康重 (下絵一幅、成瀬一幅)



3 佐藤六左衛門 (下絵一幅、成瀬一幅)



4 松平左近真乗 (下絵一幅、成瀬一幅)



5 加藤市左右衛門 (下絵一幅、成瀬一幅)



6 戸田十郎右衛門 (下絵一幅、成瀬一幅)



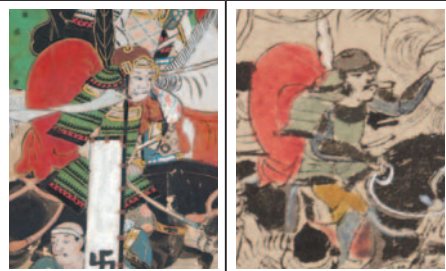
33 瀧川左近一益 (下絵六幅、成瀬五幅)



34 塙九郎右衛門 (下絵六幅、成瀬四幅)



35 野々村三十郎正成 (下絵六幅、成瀬五幅)



36 丹波五郎左衛門長秀 (下絵六幅、成瀬五幅)



37 佐々内蔵助成政 (下絵六幅、成瀬四幅)



38 前田又左衛門利家 (下絵六幅、成瀬四幅)



27 真田兵部昌輝 (下絵五幅、成瀬四幅)



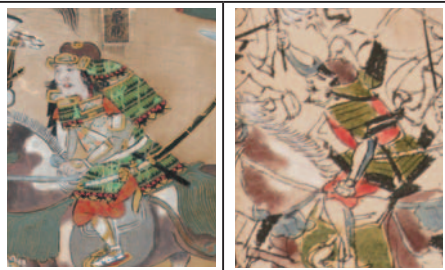
28 真田源太左衛門信綱 (下絵五幅、成瀬四幅)



29 望月甚八郎重氏 (下絵五幅、成瀬三幅)



30 原隼人佐昌勝 (下絵五幅、成瀬三幅)



31 福富平左衛門貞次 (下絵五幅、成瀬五幅)



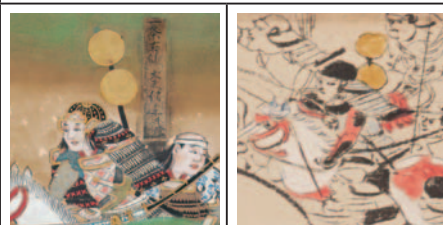
32 羽柴筑前守 (下絵六幅、成瀬五幅)



20 内藤修理亮 (下絵四幅、成瀬三幅)



21 一条右衛門大夫信龍 (下絵四幅、成瀬二幅)



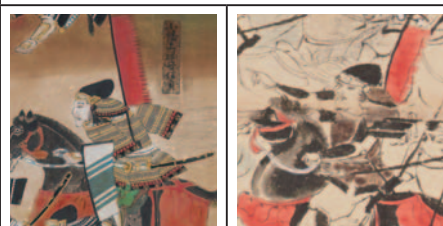
22 初鹿伝右衛門 (下絵四幅、成瀬二幅)



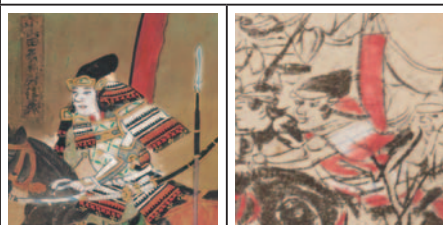
23 横田十郎兵衛綱松 (下絵四幅、成瀬三幅)



24 小幡上総守貞貞 (下絵四幅、成瀬三幅)



25 小山田兵衛尉信茂 (下絵四幅、成瀬二幅)



26 土屋右衛門尉昌次 (下絵五幅、成瀬四幅)



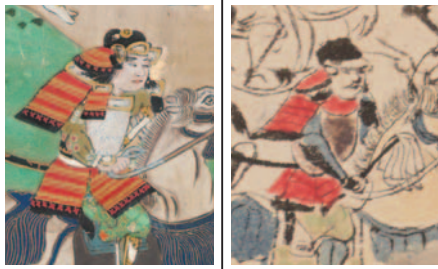
52 大久保次右衛門忠佐 (下絵七幅、成瀬四幅)



53 織田城之助信忠 (下絵八幅、成瀬六幅)



54 河尻与兵衛重能 (下絵八幅、成瀬六幅)



55 山本新五左衛門 (下絵八幅、成瀬五幅)



56 植村庄右衛門正勝 (下絵八幅、成瀬五幅)



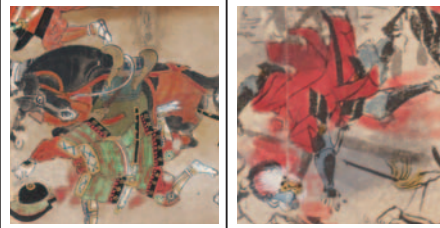
57 平岩七之助親吉 (下絵八幅、成瀬四幅)



45 石川伯耆守数正 (下絵七幅、成瀬五幅)



46 山県三郎兵衛昌景 (下絵七幅、成瀬三幅)



47 志村又右衛門 (下絵七幅、成瀬三幅)



48 御使番 加藤喜助 (下絵七幅、成瀬五幅)



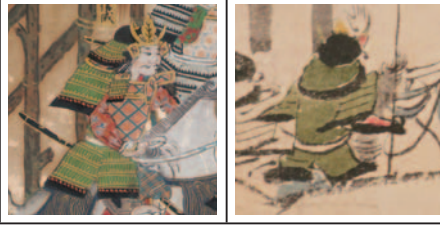
49 本多平八郎忠勝 (下絵七幅、成瀬四幅)



50 原田弥之助 (下絵七幅、成瀬四幅)



51 内藤三左衛門信成 (下絵七幅、成瀬四幅)



39 大久保七郎右衛門忠世 (下絵六幅、成瀬四幅)



40 稲葉伊予守通朗 (下絵七幅、成瀬六幅)



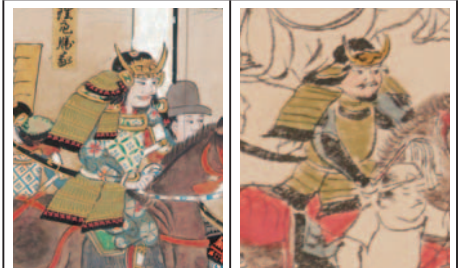
41 信長公 (下絵七幅、成瀬六幅)



42 猪子兵助高就 (下絵七幅、成瀬六幅)



43 柴田修理亮勝家 (下絵七幅、成瀬五幅)



44 佐久間右衛門信盛 (下絵七幅、成瀬五幅)



70 (成瀬正吉正成) (下絵七幅、成瀬四幅)



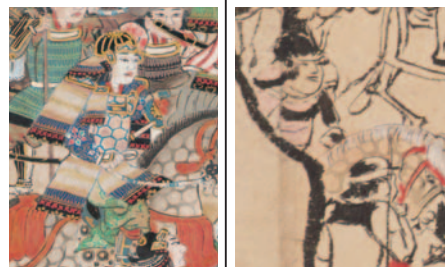
71 徳川家康 (下絵八幅、成瀬五幅)



72 内藤四郎左衛門正成 (下絵八幅、成瀬五幅)



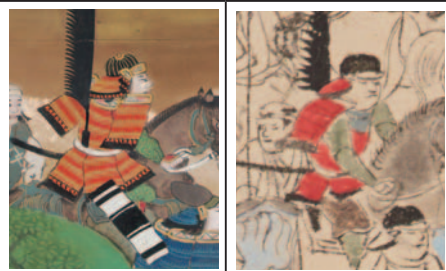
73 松平信康 (下絵八幅、成瀬五幅)



74 (不明 1) (下絵八幅、成瀬六幅)



75 (不明 2) (下絵八幅、成瀬六幅)



64 穴山梅雪信君 (下絵一幅、成瀬一幅)



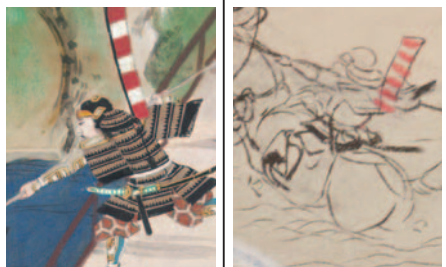
65 蜂須賀小六正勝 (下絵六幅、成瀬五幅)



66 神原小平太康政 (下絵八幅、成瀬六幅)



67 尾崎半兵衛 (下絵二幅、成瀬二幅)



68 (武田兵) (下絵二幅、成瀬二幅)



69 (案内人) (下絵二幅、成瀬一幅)



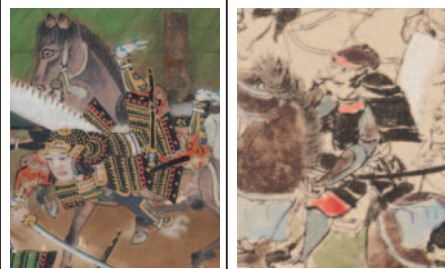
58 青山新七 (下絵三幅、成瀬二幅)



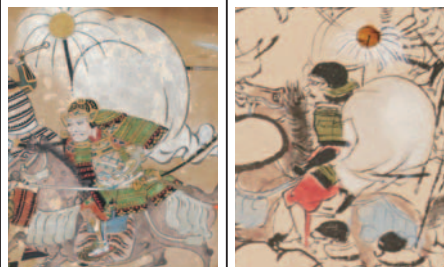
59 松平主殿助伊忠 (下絵三幅、成瀬二幅)



60 安中左近 (下絵四幅、成瀬三幅)



61 武田道遠軒信康 (下絵四幅、成瀬三幅)



62 鳥居彦右衛門元忠 (下絵八幅、成瀬四幅)



63 水野惣兵衛忠重 (下絵八幅、成瀬六幅)

